

関戸地球大学院

世界中で日々起こっている、武力紛争や暴力、人権侵害や差別、宗教や政治に関わる問題。

日本においても少子高齢化、混迷する経済等のさまざまな問題を抱える中、来るべき未来に向けて、今、我々は何を学び、何をすべきなのか？

多摩市内の3大学の教授陣による、グローバルな視点での講義をお届けします。

| 日付 | テーマ | 講師 |
|------|--|--------------------------|
| 6/5 | 二つの地方創生を超える第三の道 ～若者に選ばれるイナカで起きていること | 中庭 光彦氏 (多摩大学教授) |
| 6/12 | 少子・高齢化社会における女性と移民 ～ヨーロッパとアジアの比較から | 定松 文氏 (恵泉女学園大学教授) |
| 6/19 | パリ地域研究から見える世界 | 吉原 直樹氏 (大妻女子大学教授) |
| 6/26 | 中国経済の現状と今後の日中経済関係の展望 | 巴特尔 (バトル) 氏 (多摩大学准教授) |
| 7/3 | 児童文学から見える英国文化 | 安藤 聡氏 (大妻女子大学教授) |
| 7/10 | ヘイトスピーチの広がりとは多文化共生社会 ～「言論の自由」と「差別の禁止」 | 上村 英明氏 (恵泉女学園大学教授) |

※いずれも金曜日 18時45分～20時45分

会場:関戸公民館大会議室

(京王線・聖蹟桜ヶ丘駅前ヴィータコミュニェ8F)

対象:どなたでも

定員:60名 (申込み先着順)

参加費:無料

申込み・問合せ:関戸公民館 042-374-9711 (〒206-0011 多摩市関戸4-72)

<講師プロフィール>

① 中庭 光彦 氏

1962年、東京都生まれ。2000年、中央大学大学院総合政策研究科修士課程修了、2003年博士課程退学。2011年より多摩大学准教授、2015年より現職。専門は地域政策・観光地経営。コンベンション業界等で、都市・地域広報等の調査・コンサルティング業務を行い、研究者となつてからも、一貫して都市・地域の政策分析とコミュニティデザインによる社会開発をテーマとしてきた。当初のフィールドは多摩ニュータウン開発で、以後全国の観光地に範囲を広げている。主な著書に『NPOの底力』（2004、共著）、『オーラル・ヒストリー 多摩ニュータウン』（2010、共編著）、『日本の水文化調査報告 2013年度-10年後の水文化を予測するためのツールブック』（2014、企画監修）他。現在、ミツカン水の文化センターアドバイザー、日本計画行政学会常任幹事、全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会実務担当者会議委員等もつとめている。

② 定松 文 氏

福岡市生まれ。お茶の水女子大学大学院（社会学）博士課程単位取得。専門分野は国際社会学・ジェンダー論・言語社会学。神奈川県川崎市の外国籍市民調査（1995年、1997年）より日本に住む外国籍女性の抱える問題に関心をもつ。2005年より介護福祉士・看護師候補生として来日する人々をめぐる政策の問題およびヨーロッパの介護分野での移住女性の位置づけを調査研究。

- ・「国家のはざまの外国人ケア労働者」（共著）『女性労働研究』52号、青木書店、2010年
- ・『公正な社会とは』（共著）、人文書院、2012年

③ 吉原 直樹 氏

徳島県生まれ。大妻女子大学社会学部教授。東北大学名誉教授。社会学博士。この間、インドネシア大学大学院、ウダヤナ大学客員教授を務める。都市社会学、地域社会学専攻。元地域社会学会会長。現在、日本学術会議連携会員、社会学系コンソーシアム理事長、日本社会学会理事を務める。主な著書に『開いて守る』岩波書店、2007年、『モビリティと場所』東京大学出版会、2008年、『「原発さまの町」からの脱却』岩波書店、2013年等がある（いずれも単著）。

④ バテル（バトル）氏

中国・内モンゴル自治区生まれ。1995年来日。東京大学大学院総合文化研究科地域文化研究専攻修士課程修了、同博士課程単位取得満期退学（学術博士号）。（株）三井物産戦略研究所を経て、2012年より多摩大学経営情報学部専任教員。専門は、中国・大中華圏経済、現代中国政治、モンゴル近現代史。2009年より寺島文庫塾アジア・ユーラシア研究会幹事。2012年より東京財団現代中国研究プロジェクトメンバー。

最近の論考：三井物産戦略研究所『「龍象共舞」は可能か—中印関係に関する一考察』（2011年、単著）、三井物産戦略研究所「持続的な発展を目指す中国、その現状と課題」（2011年、共著）、三井物産戦略研究所『アジアを見る眼』（共同通信社、2012年、共著）、岡山大学「胡锦涛・温家宝体制の回顧と今後の中国経済展望」『東アジアの経済協力と共通利益』（2015年3月、共著）、ジェトロ「中国辺境経済圏の諸相」『月刊 中国経済』（2015年、6月号）など。

⑤ 安藤 聡 氏

東京都多摩市出身。大妻女子大学比較文化学部教授（英語・英文学・英国文化）。都立永山高校を経て明治学院大学文学部英文学科卒業、同大学院文学研究科英文学専攻博士後期課程満期退学。博士（文学）（筑波大学）。主著として『ウィリアム・ゴールディング—痛みの問題』成美堂、2001年、『ファンタジーと歴史的危機—英国児童文学の黄金時代』彩流社、2003年、『ナルニア国物語 解説—C・S・ルイスが創造した世界』彩流社、2006年（2007年度日本キリスト教文学会賞受賞）、『英国庭園を読む—庭をめぐる文学と文化史』彩流社、2011年などがある。

⑥ 上村 英明 氏

1956年熊本市生まれ。早稲田大学大学院経済学研究科修士課程修了後、川崎市平和館専門調査員、明治学院大学国際平和研究所特別所員などを経て現職。1982年に市民外交センターを設立し、代表（同 NGO は、1999年国連経済社会理事会の諮問資格を取得）。専門の国際人権法を通じた、先住民族（アイヌ民族・琉球民族）の権利回復の他、広く平和や民主主義の問題に取り組む。オーストラリア・メルボルン大学客員研究員。

- ・『新・先住民族の「近代史」—植民地主義と新自由主義の起源を問う』（単著）平凡社、2015年。
- ・『知っていますか？アイヌ民族一問一答 新版』（単著）解放出版社、2008年。